

# SBoM 競技規則 2026 年版

SUPER BATTLE of MINI は レース形式のスポーツ走行会 です。クラシック・ミニをこよなく愛し、モータースポーツの楽しみ方を少しでも感じて頂ければ幸いです。

SUPER BATTLE of MINI は、参加者の皆様がアマチュアレースに参加されているクラシック・ミニや、日常お乗りになっているクラシック・ミニを使い、ドライビング技術を向上させながら、サーキット走行をより安全に、気軽に楽しんで頂く事を目的として開催しております。

決して、勝利や入賞する事だけが目的の競技レースではありません。また、競技レースへのステップアップを目的としたレースでもありません。参加車両のパフォーマンスの向上も大切ですが、スポーツマンシップとマナーを重視し、モータースポーツライフを気軽に楽しんで頂くためのイベントです。

ご自身の勝利よりも、無理なドライビングによる事故の回避を優先し、他の参加者が迷惑と思わないマナーと規則を守った結果から生まれるフェアな駆け引きや、サーキットの雰囲気を楽しむ『真に高尚な趣味』として参加して頂いております。モータースポーツはサーキットを使用した危険を伴うスポーツです。いかなる場合も参加者の自己責任となります。

競技レースではありませんが、レース形式の開催方式を採用している事と、上記趣旨を具現化するため以下の項目を規定します。

新規車両制作、アップデートの際に、不明な点や確認項目がありましたら運営スタッフ技術部門まで必ずお問い合わせ下さい。

2026 年 2 月 4 日改訂

2026 年 1 月 7 日 EUROPEAN SUPER SPORTS クラス追加、厳守事項追記

2026 年 2 月 4 日ペナルティ(基準タイム違反)追記、表彰及び賞典加筆

**SUPER BATTLE  
of MINI®**

## ■ 参加者資格

1. 有効な普通自動車免許保持者で、クラシック・ミニと英國車オーナー及びその車両で参加する者とする。(免停など失効免許証は不可。仮ナンバーでの自走来場は不可。)
2. サーキットライセンス、JAF モータースポーツライセンスは不要です。
3. 参加ドライバーが四輪プロドライバーの場合はご遠慮頂く事があります。参加した場合は表彰対象外となる。
4. 各レースクラスのレギュレーションを違反した者は、シーズンポイント剥奪となる。
5. サーキットの基本走行規則を熟知している事。
6. 無理なドライビングによる接触事故等を避け、他の参加者が迷惑と思わないマナーと規則を守った走行が出来る事。
7. 規定を厳守できないエントラント及びドライバーは参加をご遠慮ください。またレギュレーション違反の場合、参加をご遠慮頂く場合がございます。
8. モータースポーツは危険を伴うスポーツです。常にスポーツマンシップにのっとり、紳士的な言動が求められます。相手に対して誹謗中傷と受け取れる表現とみなされた場合、その方の参加をお断りする場合があります。

## ■ ドライバー

1. 参加申し込みが受理されたエントリードライバー以外の走行を認めない。
2. ブリーフィングに出席しないドライバーは出走を認めない。(ブリーフィングは時間厳守です。タイムスケジュールの遅れによる出走可能時間の短縮等に繋がりますのでご注意下さい。)
3. イベントに相応しくないと思われるエントラントおよびドライバーは退場処分とする場合がある。

## ■ 装備品に関する付則

1. ヘルメットは、JAF 公認、または FIA8859、SNELL SA の基準に適合したフルフェイスの装着が望ましい。(使用限度: 製造後 10 年を経過した物は使用してはならない。)
2. グローブは指先まであり耐火性のある JAF または FIA 公認、4 輪用レーシンググローブの着用が望ましい。新規購入の場合は FIA 公認 STANDARD 8856-2000 規格適合以降を推奨。
3. スーツは耐火性のある JAF または FIA 公認、4 輪用レーシングスーツの着用義務付け。  
新規購入の場合は FIA 公認 STANDARD 8856-2000 規格適合以降を推奨。
4. シューズは耐火性のある JAF または FIA 公認、4 輪用レーシングシューズの着用が望ましい。新規購入の場合は FIA 公認 STANDARD 8856-2000 規格適合以降を推奨。
5. アンダーウエアは綿など難燃性素材の着用が望ましい。可燃性化纖は避ける方が望ましい。耐火性のある JAF または FIA 公認、4 輪用アンダーウエアの着用を推奨する。  
新規購入の場合は FIA 公認 STANDARD 8856-2000 規格適合以降を推奨。

補足 ISO 6940,1986 STANDARD 規格は FIA(JAF 公認)の有効期限が 2007 年に終了しました。現行の基準に合致した装備品への早期更新の検討をお願いします。

## ■ 走行規定

1. 走行妨害を禁止する。(通称:クロスブロック、ブロックライン走行、イン閉め等の意図的追い越し阻止行為を禁止する)
2. 接触、衝突及びそれに至る恐れのある走行、無理な追い越し、威嚇行為を禁止する。

1.	前方の車両の空気抵抗を利用した極端に車間距離を詰めたスリップストリームは禁止する。また、スリップストリームからコーナー入口での無理なイン側への侵入もご注意下さい。常に前方4割、後方6割程度の意識を持ち、抜かれる側も抜く側も最善の注意を払い、十分な車両間隔を取る様にして下さい。
2.	急激な進路変更や後方から左右にフェイントをかける等による他車への威嚇及びそれに準ずる行為を禁止する。
3.	前車がターンインする瞬間までに、前車のAピラー以上前へ車体前端部が到達しないような無理なブレーキングからイン側へ進入しての追い越し行為を禁止する。

(以上は、[走行マナーとペナルティ](#)を参照のこと)

3. 接触があった場合は、当事者同士、走行後確認し、声を掛け合いましょう。
  4. 特別な指示や規定がない限り、JAF一般レース規定を踏襲する。
  5. 各サーキットのピットトレーン制限速度を厳守する。(筑波サーキット TC2000: 40km/h)
  6. 明らかに重大事故の発生が予測出来る危険な行為を行ってはならない。
  7. 走行中何らかのトラブルでコースアウト又はコース上に停止した際は、エンジンを切り(メインスイッチをオフにする)ヘルメット、グローブを装着したままスポンジバリア、ガードレール等の外に速やかに退避する事。
  8. **予選(約15分間)のスポーツ走行のタイムで、決勝グリッドを決める。予選公式タイムが記録出来ていない場合、決勝はピットスタートとする。**ピットスタートの場合、フォーメーションラップに参加する事は出来ない。  
※ピットスタートは、スタートした競技車両の集団が1コーナーを通過した後に、ピットエンドの信号灯に緑色ライトが点灯する事によりスタートが許される。
  9. 決勝レースは8周回(R7/入門クラスは4周回)で行われる。天候や安全上の理由により競技が中断した場合には周回数を減らして再スタートする場合がある。
  10. フォーメーションラップでは車両5台分以内の車間距離で走行し、著しい速度・進路変化や、走路を逸脱しないよう車両をコントロールする事。**前方後方車間距離を意図的に広げる詰める行為ならびに玉突き事故を誘因する行為(スタート練習など)は禁止とする。**
- 補足 各項目を違反するとペナルティの対象となります。走行中でも黒旗の対象になりピット停止や順位降格等のペナルティを科せられる場合があります。

## ■ 厳守事項

1. 安全に走行できるよう、主催者スタッフだけでなく、参加者全員参加型の運営が望ましい。
2. コース、ピット、パドック内は禁煙。喫煙は指定の場所で行う事。
3. 他の参加者や見学者の迷惑になるような行為をしない。
4. 近隣の迷惑にならない様、行き帰りも含め、騒音/走行マナー等には十分注意する。
5. サーキット内は**火気厳禁**となっております。バーナー等の使用も禁じます

## ■ 表彰及び賞典

1. 原則としてレースクラス各クラスの 1 位から 3 位まで表彰する。  
**※表彰対象者が暫定リザルトと異なる場合があります。**
2. SUPER BATTLE of MINI オリジナルトロフィーまたは、その他トロフィーの贈呈。
3. 上記以外の賞典の詳細、順位表彰範囲は後日発表する。
4. 当日の結果に変更点(再審議等)がある場合は、後日「正式結果」としてホームページ等で告知する場合がある。
5. シリーズポイントは全 4 戦のポイントを合算し、年間シリーズポイントとする。
6. シーズン終了後に年間表彰式を行います。特にレースクラス受賞者の方々は参加するようお願い致します。  
**※2026シーズン表彰式は中止。翌 2027 第 1 戰にて代替式行う予定。**

## ■ 赤旗(レッドフラッグ)時の対応

競技長が安全上の理由によって、**競技を中止または中断**にする必要があると判断した場合、マーシャルポストで**赤旗**を**振動表示**する。合図が与えられた際、コース上の車両は他車両を追い越すことなく走行し、指定された場所へ車両を停止しなければなりません。

1. フリー走行または予選中であれば、全車両、直ちに減速し、低速でピットロードへ戻らなければならない。
2. 決勝レース中であれば、全車両、直ちに減速し、低速でピットロードへ戻らなければならない。  
順位認定または再スタートにおけるグリッド順は、赤旗提示直前の状況で確定する。

## ■ ポイント

1. ポイントは 1 位から 6 位までの入賞者に決勝出走ポイント 5 pt と共に与えられる。
2. 7 位以下のドライバーには、決勝出走ポイント 5 pt と完走ポイント 7 pt が与えられる。
3. ポールポジションポイント 1 pt、決勝ファステストラップポイント 1 pt が各クラスに与えられる。
4. 各レースクラスにおいて、全戦参加したドライバーには皆勤ポイントとしてシリーズ終了時に 5pt が与えられる。
5. 三和トレーディングが携わる他イベントに出場した場合には、設定された遠征ポイントが別途付与される事がある。

## ■ ペナルティ

サーキットを走る上でのマナーを心掛け、実行して頂ければ下記のような規定とは無縁です。この規定は主役である皆さんに「サーキットを安全で楽しく走る」を続けて頂く為、つい熱くなりがちなサーキット走行で、マナーとは何か、安全とは何かを忘れないで頂く事が目的です。また、モータースポーツはスポーツです。スポーツマンシップに則った行動を常に心掛けましょう。ペナルティを科す事が本来の目的ではありません。ペナルティの確認、判定は全てサーキット監視センターのモニターと連携して行われます。

1. 発生理由や罰則が科されるかどうかを問わず、管制員、競技長から他車との接触の判定を受けた場合には、得点は与えられない。また、この判定に関する抗議は受け付けられない。

### 2. フラッグ違反ペナルティ

フラッグの見落としは重大な事故に繋がるため、予選及び決勝でフラッグ違反があった場合は以下の規定を適用します。(大会主催者側からの指示がある場合は、そちらを採用)フラッグについては[フラッグの種類とフラッグの意味](#)ページを参照下さい。

また、その他メインポストなどから提示されるドライブスルーペナルティやライトオン表示などもあるので注意する事。

予選	該当ドライバーは決勝ピットスタートとする。
決勝	該当ドライバーの順位降格または失格とする。

3. 決勝レース中 4周回以上を自己申告クラスの基準タイムより早く走行した場合、**基準タイム違反として失格(ノーポイント)**とする。

## ■ イエローカード制の導入と接触ペナルティ

1. ペナルティ対象ドライバーにはイエローカードを正式結果に提示する。
2. イエローカードは累積してカウントし、3枚目を提示されたドライバーは、エントリーの有無に関わらず次のレースは出場停止とする。
3. イエローカードは年間でカウントされ、翌シーズンには持ち越されない。
4. 走行中、反スポーツ的行為(無理な走行)やコースを大きく汚し、レースを中断または走行を中断させるなど、他の参加者に迷惑をかけた場合イエローカードの対象となる。
5. 走行中失格となったドライバーはイエローカードの対象となる。
6. その他、管制室から監視の結果、厳重注意などがある場合がある。
7. 発生理由や罰則が科されるかどうかを問わず、管制員、競技長から他車との接触の判定を受けた場合には、得点は与えられない。また、この判定に関する抗議は受け付けられない。

## ■ タイムスケジュール等

1. タイムスケジュールはイベント主催者規定による。
2. タイムスケジュールはイベント当日に変更する事がある。

## ■ その他

1. 決勝レースとする走行クラスへの参加台数が走行に無理のある数と主催者が判断した場合、予選不通過車両を対象にコンソレーションレースを行う場合がある。スケジュール、走行クラス等に関しては、当ホームページなどの通知を以って参加者に公示する。コンソレーションレースは、他クラスとの混走の場合がある。コンソレーションレースのスタートインググリッドの決定方法は、混走の場合でも、各クラス共通の予選組分け後のタイム順による決勝グリッドの決定方法に準ずる。
2. 特別な指示が無くても、一般的H項を厳守。不明な点は、大会主催者又はメンテナンスショップに確認する事。
3. SUPER BATTLE of MINI 主催者は、シリーズ途中でも安全確保のためレギュレーションを変更する事ができる。
4. SUPER BATTLE of MINI 主催者は、イベントの各規定項目、項目外および行為に対して最終判断の権限を有し、特別及び恒久的な変更、救済措置を行う事ができる。エントラントはその裁定に従う事とする。
5. ピット割は特にありませんので、参加者皆様で譲り合ってご使用下さい。困った時、困った人を見かけた時などは、すぐに声を掛け合いましょう。
6. 積載車両でお越しの際は、作業が終了したら迅速に指定の駐車場へ移動して下さい。パドックは常に清潔に、広く使用出来ます様皆様で協力しましょう。待機場所に駐車する際は、前後の車両間隔を開け、前後の車両の出し入れに配慮すると共に、前後車両とドライバーを把握して自身のコースイン順を遵守し、タイムスケジュールが遅れない様注意しましょう。
7. サーキット走行を行う際に最も重要なフラッグの種類は必ず把握し、フラッグ表などを作成し、ご自身のカーナンバーと共に車両インストルメントパネルに貼付するなど、走行中でも確認出来る等工夫して下さい。

# SBoM 車両規則 2026 年版

## ■ 基本参加車両規定

1. 一般公道を走行する車両からパイプフレーム等の MOTO SPORTS CLASS 車両まで、クラシック・ミニと確認可能な車両である事。但し、パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。
2. フロント 4 点式以上のロールケージの取り付けを義務付ける(R7/入門クラスは推奨)  
※6 点式以上を推奨する。運転席側サイドバー装着を強く推奨。次節詳細参照
3. シートはフルバケットシートを強く推奨。ローバックシート(コブラ等)使用禁止。  
シートは 4 点以上でフロアに確実に固定する事。
4. シートベルトハーネスは 4 点式以上を使用する事。プッシュバックル式は使用禁止。HANS(FHR デバイス)を使用する場合は FIA に準拠する事。
5. 全てのライト類には脱落・飛散防止のテープングを透明のテープで行う事。養生テープ・セロハンテープ禁止。  
外部の照明器具は左右ヘッドライト、前後方向指示器、ストップライトおよび後部テールランプの機能を備えていなければならず、競技の間、常に作動する状態でなければならない。テープングで光源を妨げない様にする事。
6. ナンバー付き車両は、道路運送車両法を厳守する事。自走の際は保安基準適合音量を超えない事。
7. 全クラス(Vintage Formula RC 除く)S タイヤまでとする。レインタイヤはこれに限らない。スリックタイヤ禁止。
8. 走行不能(コースアウトなど)になった際、車両回収時に必要となる為、強度を持つ牽引フックを車両の前後に装着する事。(純正フック使用可)
9. 消火器を搭載する事が望ましい。(内容量 1.5kg 以上)
10. 参加者は事前に主催者の認可を受けたカーナンバーまたは事務局の用意したカーナンバーを、左・右ドア、ボンネットの 3 カ所に雨風等で剥がれないよう確実に貼り付ける事。養生テープの使用を固く禁ずる。  
ガムテープあるいはビニールテープを使用の際は、幅 38mm 以上のものでボディへ確実に固定する事。(カーナンバーはサークルとの色の見分けが出来れば真円または正方形で参加者が用意可能)。
11. 自動計測装置(ポンダー)は、ビニールテープまたはガムテープでセンサーが剥がれないように確実に車内右後ろガラス部分に固定する。車外装着禁止。走行終了後は主催者受付に必ず返却する事。
12. ホイールバランスサー、ブレーキ/クラッチフルードキャップ、冷却水補助タンクキャップ、バッテリープラス端子、オイルレベルゲージはテープ等を貼り、クラッシュなどで流出・脱落しないようにする。純正フューエルタンク使用の際、注入口からの漏れが無いようにフューエルキャップをテープ等でラッピングする事。
13. プローバイガスを大気開放とする場合、オイルのコース流出を防ぐため、容量 1L 以上の金属製で確実な装置のオイルキャッチタンクを装着する事。走行前に必ず容量確保する事。

## ■ 基本参加車両規定詳細

### 2. フロント 4 点式以上のロールケージの取り付けを義務付ける(R7/入門クラスは推奨)。

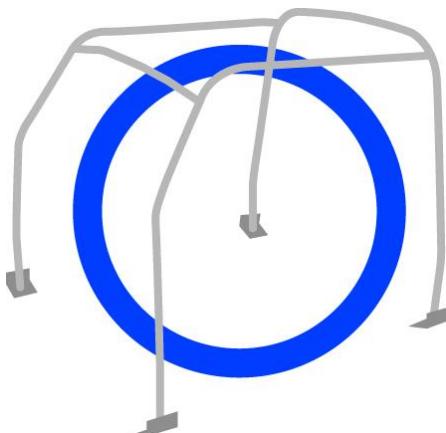
ロールケージは、フロアボディに 4 本のロールバーが接地するフロント 4 点式以上で、運転席周りを囲うものとする。

各ピラーとの固定を推奨。運転席側サイドバー(ドアバー)装着を強く推奨。なお、リア4点式ロールケージは禁止。

材質はスチール(クロモリ鋼等)とし、パイプ径は 38mm 以上、肉厚 2.0mm 以上(クロモリ鋼は 1.6mm 以上)とする。アルミ等は使用禁止。

MOTO SPORTS/MOTO FIVE クラスは 6 点式以上のロールケージ搭載の事。運転席側サイドバー装着を強く推奨。

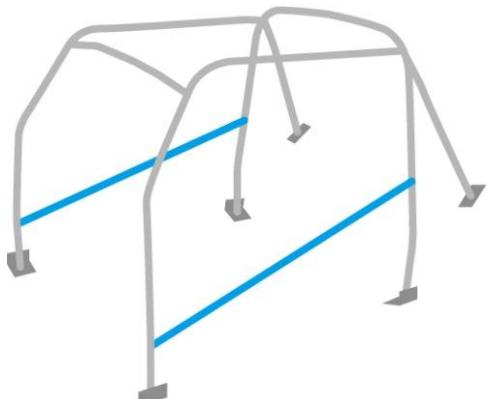
(各クラス共に 6 点式以上を推奨)



■フロント 4 点式ロールケージ



■リア4点式ロールケージは禁止



■6 点式ロールケージと追加サイドバー(水色部)

## ■ MOTO SPORTS CLASS (モト・クラス) 参加車両規定

1. 筑波サークル公式時計 1' 07.999 以内で平均的に周回出来る事。
2. ボディ形状はクラシック・ミニに極めて類似している事。フォーミュラ、ロータス 23B など、クラシック・ミニのボディ形状として認識されない車体は不可。
3. パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。シリンダー・ヘッドは 5 ポート含め自由(7 ポート、8 ポート、ツインカム・ヘッド可)。排気量は無制限。キャブ/インジェクション自由。
4. エンジンの搭載位置は前軸より前方とし、前軸駆動とする事。
5. クラシック・ミニ A タイプ純正ブロック、純正ミッションケースを使用する事。
6. ギアの変更可。シーケンシャル使用可。4 速、5 速、6 速可。
7. パイプフレーム使用可。内装自由。
8. サスペンション、ホイールは自由。タイヤは S タイヤまでとする(レインタイヤに関してはこれに限らない)。ホイールサイズは自由。
9. 6 点式以上のロールケージ搭載の事。運転席側サイドバー装着を強く推奨。
10. 5 点式以上のシートベルトハーネスを使用する事。HANS を着用する事。
11. フロントサブフレームは純正同等形態を使用し、足回り取り付け位置及び各上下アーム類の大幅なサイズ変更は不可。市販品のみ使用可。

## ■ MOTO FIVE CLASS (モト・ファイブ クラス) 参加車両規定

1. 筑波サークル公式時計 1' 07.999 以内で平均的に周回出来る事。
2. ボディ形状はクラシック・ミニに極めて類似している事。フォーミュラ、ロータス 23B など、クラシック・ミニのボディ形状として認識されない車体は不可。**リアウイングは使用禁止。その他アンダーディフューザー等は自由。**
3. パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。シリンダー・ヘッドは 5 ポートに限る。排気量は無制限。キャブ/インジェクション自由。
4. エンジンの搭載位置は前軸より前方とし、前軸駆動とする事。
5. クラシック・ミニ A タイプ純正ブロック、純正ミッションケースを使用する事。
6. ギアの変更可。シーケンシャル使用可。4 速、5 速、6 速可。
7. **一部**パイプフレーム使用可。内装自由。
8. サスペンション、ホイールは自由。タイヤは S タイヤまでとする(レインタイヤに関してはこれに限らない)。ホイールサイズは自由。
9. 6 点式以上のロールケージ搭載の事。運転席側サイドバー装着を強く推奨。
10. 5 点式以上のシートベルトハーネスを使用する事。HANS を着用する事。
11. フロントサブフレームは純正同等形態を使用し、足回り取り付け位置及び各上下アーム類の大幅なサイズ変更は不可。市販品のみ使用可。

## ■ SUPER BATTLE of MINI (スーパーバトルオブミニ クラス) 参加車両規定 ※SUPER SPRINT 追加

1. 従来の記録と参加者の希望を含め OPEN CLASS と SUPER SPRINT CLASS と SPRINT CLASS の 3 クラスにシーズンを通して振り分ける。
2. 基準タイムは、1' 08.000～1' 12.999 を OPEN CLASS、1' 13.000～1' 14.999 を SUPER SPRINT CLASS、1' 15.000 以上を SPRINT CLASS としてクラス分けを行う。なお、持続的に基準タイムを逸する場合シーズン途中でもクラス変更を行う。
3. 一般公道を走行する車両からレース専用車両までクラシック・ミニと確認可能な車両である事。リアウイングは使用禁止。その他アンダーディフューザー等は自由。
4. パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。シリンダー・ヘッドは 5 ポート含め自由(7 ポート、8 ポート、ツインカムヘッド可)。排気量は無制限。キャブ/インジェクション自由。
5. タイヤは S タイヤまでとする。サイズは自由。
6. ボディパネルの変更は全体の 30 %までとする。フロントサブフレームは純正を使用する事。パイプフレームは不可(OPEN CLASS 一部パイプフレーム可)。スチールモノコックのみ。開口部の材質変更は認められる。SUPER SPRINT、SPRINT CLASS ではリアサブフレームは純正を使用する事。
7. OPEN CLASS は 5 点式以上のシートベルトハーネスを使用する事。HANS 着用を強く推奨する。SUPER SPRINT、SPRINT CLASS は基本参加車両規定に準ずる。

## ■ INJECTION CLASS (インジェクション クラス) 参加車両規定

1. 従来の記録と参加者の希望を含め、[クラス 1]と[クラス 2]の 2 クラスにシーズンを通して振り分ける。
2. 基準タイムは、1' 11.000～1' 12.999 をクラス 1、1' 13.000 以上をクラス 2 としてクラス分けを行う。なお、持続的に基準タイムを逸する場合シーズン途中でもクラス変更を行う。
3. 一般公道を走行する車両からレース専用車両までのクラシック・ミニと確認可能な車両である事。但し、パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。リアウイングは使用禁止。その他アンダーディフューザー等は自由。
4. 純正 ECU を使用の事。サブコントローラーの使用禁止。燃料圧力レギュレータースプリングの変更、純正マップ書き換えは可。
5. 純正 ECU の蓋を開けてはならない。純正 ECU の中身には一切触れてはいけない。
6. タイヤは S タイヤまでとする。サイズは 13 インチまで。
7. ボディパネルの変更は全体の 30 %までとする。フロントサブフレームは純正を使用する事。パイプフレームは不可。スチールモノコックのみ。開口部の材質変更は認められる。リアサブフレームは純正を使用する事。

※2025 シリーズ第 2 戰より 2 クラス化

### ■ BATTLE of MINI1000 (バトルオブミニ 1000) 参加車両規定

1. 一般公道を走行する車両からレース専用車両でクラシック・ミニと確認可能な車両である事。但し、パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。
2. キャブレターは SU キャブレター、ウェーバーキャブレターなど 1960 年代から 1970 年代の形式の物のみ使用可。欧州製は尚可。インジェクション可。
3. 1000cc ブロックを使用する事。1300cc シリンダー・ヘッド使用可。**排気量 1,150cc まで**
4. タイヤは S タイヤまでとする。サイズは 12 インチまで。
5. ボディパネルの変更は全体の 30 %までとする。フロントサブフレームは純正を使用する事。パイプフレームは不可。スチールモノコックのみ。開口部の材質変更は認められる。リアサブフレームは純正を使用する事。
6. **自然吸気のみ。過給機の使用禁止。**

### ■ DUNLOP R7 ワンメイク 参加車両規定 ※基準タイム無し

1. タイヤは DUNLOP SP SPORT R7 (10/12inch) のみとする。
2. 一般公道を走行する車両からレース専用車両までクラシック・ミニと確認可能な車両である事。但し、パワーユニットは A タイプエンジンを搭載の事。**リアウイングは使用禁止。**その他アンダーディフューザー等は自由。
3. キャブ/インジェクション自由。
4. ボディパネルの変更は全体の 30 %までとする。フロントサブフレームは純正を使用する事。スチールモノコックのみ。開口部の材質変更は認められる。リアサブフレームは純正を使用する事。
5. **決勝レースは 4 周回で行われる。**

### ■ 入門クラス 参加車両規定

1. 一般公道を走行する車両からレース専用車両で、クラシック・ミニをはじめ、1980 年代までのヨーロッパ車である事。
2. タイム基準は、1' 18.000 以上。なお、持続的に基準タイムを逸する場合シーズン途中でもクラス変更を行う。
3. キャブ/インジェクション自由。
4. タイヤは S タイヤまでとする。
5. **決勝レースは 4 周回で行われる。**

## ■ EUROPEAN CLASSIC CHALLENGE(ヨーロピアン クラシック チャレンジ)参加車両規定 ※SUPER SPORTS 追加

1. MG、トライアンフ、ヒーレー、ジャガー他、クラシックアルファ・ロメオ、ルノー、シトロエン、プジョーなど 1980 年代までのヨーロッパ車。
2. 従来の記録と参加者の希望を含め **SUPER SPORTS**、SPRINT、CLUBMAN の 3 クラスにシーズンを通して振り分ける。
3. 基準タイムは、**1' 08.000～1' 08.999** を **SUPER SPORTS** CLASS、**1' 09.000～1' 12.999** を SPRINT CLASS、**1' 13.000 以上** を CLUBMAN CLASS としてクラス分けを行う。なお、持続的に基準タイムを逸する場合シーズン途中でもクラス変更を行う。
4. 英国製、その他ヨーロッパ製パワーユニットに限る。
5. 国産パワーユニットは不可。
6. タイヤは S タイヤまでとする。HANS の着用を強く推奨します。
7. オープンボディの車両の場合はロールケージを搭載する事。

※2026 シリーズより 3 クラス化

## ■ Vintage Formula Racing Club (ヴィンテージ フォーミュラ レーシングクラブ)参加車両規定\*

1. クラス 1：排気量 1000cc までの F-3、1100cc までのフォーミュラ ジュニア。
2. クラス 2：1971 年モデルまでのフォーミュラ フォード。フォーミュラ フォード車両規定を超える改造を受けた車両はクラス 3 へ移行する。
3. クラス 3：1970 年モデルまでの F-2、F-B、F-L とする。
4. 全クラス、タイヤはヒストリックオールウェザータイヤに限る。HANS の着用を強く推奨します。
5. 全クラス、オリジナルに関わらず取り付け不可。(ウイング、spoiler 等)
6. エンジンシリンダーあたりのバルブ数は 2 までとする。

※FORMULA CLASSICS は、2023 年より Vintage Formula Racing Club へ名称変更

## ■ 車両検査

1. 各レースクラスの参加者は、タイムスケジュール上に定められた車検をサーキット車検場で必ず受ける事。サーキット走行をする上で、安全対策をメンテナンスショップと連携しながら行って下さい。
2. 車検不合格の場合、当日修正した場合は再車検を受ける事。再車検を受けずに走行した場合は失格とする。